

第1回知多市立地適正化計画策定委員会 議事録要旨

開催日時：令和元年11月19日（火） 午後2時～4時

開催場所：知多市役所3階協議会室

出席者（委員）：13名

（事務局）：8名

議事内容

1. 開会
2. 委員紹介
3. 委員長の選出及び副委員長の指名
4. 議題
 - （1）策定方針（案）について
 - （2）都市構造上の課題分析について
5. その他
6. 閉会

4. 議題要旨

【議題1 策定方針（案）について】

委員：4ページの策定体制について、また、この策定委員会の位置づけについてももう少し詳しく教えてほしい。

事務局：策定委員会の位置づけは、事務局で案を策定し、意見、調整をいただく場としています。意見の調整後、市長から議会に報告していただき、議会から策定委員会に意見をいただくということは特にありません。

委員：8ページの表で、医療施設について、保健センターが1箇所であるのは良いと思うが、一方で、お年寄りがアクセスするには難儀していることを耳にするので、支所的な施設もあると良いと思う。また、基礎データの整理において、都市機能の分析で調剤薬局や公民館がないので、調査をしていただきたい。

事務局：8ページは、あくまで都市機能誘導施設のイメージであり、都市機能誘導区域にどのような施設があれば、高齢化に対応できる都市の拠点になるのか、子育て世代にとって魅力的な都市の拠点になるのか、という整理を今後検討していきたいと考えております。

事務局としては、案を策定して委員に相談をさせていただきながら、施設を検討していく予定をしております。ご意見いただいた保健センター、薬局、住民票など発行できる公共サービス窓口なども、今後分析していきたいと考えております。

委員：8ページに、誘導施設として1,000㎡以上の大規模小売店舗に設定することが多いが、現に

大規模小売店舗を設定しているケースが他市町村においても多くあると聞いている。1,000 m²で設定した場合、誘導区域外のスーパーなどの既存の店舗が建て替えをしたいと言った場合、誘導区域内へ移転してくださいと市の立場で言わなければならない。今後の検討の中で、知多市の需要を踏まえつつ、検討を進めてほしい。

【議題2 都市構造上の課題分析について】

委員： ハザードマップの掲載があるが、最近よく起こっている河川氾濫等の水害において、老人ホーム等が浸水するといった例がある。それは河川に近い安価の土地に建設してしまうからである。本計画において規制することができるのか。

事務局： 老人ホーム等の社会福祉施設については、一定の基準はあるが比較的規制が緩いところがあり、どこでも建設しやすい状況です。立地適正化計画では厳しい規制をかけることはできませんが、誘導施設として位置づけることはできると考えております。

委員： 渋滞、騒音、悪臭など、いろいろな環境問題があるが、確認すると意外と簡単に基準を満たして、立地していることが多い。住みよいまちにして、人口を増やすためには、環境問題は大事だと思うので、少し厳しめの立地基準を設けてもよいのではないかと。環境問題にも十分配慮してほしい。

事務局： 参考にして検討させていただきます。

委員： 路線バスや空き家対策などについての課題を整理しているが、具体的な解決策が整理されていない。この委員会の役割として、個別具体的な課題についての解決策を検討するということなのか。

委員： 立地適正化計画は、都市全体の構造を俯瞰するような、大きな方針を定める計画である。具体的な対策は個別計画に移して、実施計画など段々細かくして、解決策を検討していくこととなる。

事務局： 空き家対策計画は都市計画課で作成しているところであり、そちらで空き家問題に対応します。また、立地適正化計画は、コンパクトプラスネットワークの考え方も計画の一部として検討するものです。都市をコンパクトにするにはネットワークで市全体をつなげる必要があります。バスネットワークについても検討を図る必要があります。

委員： 14ページの国立社会保障・人口問題研究所が推計した将来人口の見通しについて、将来、高齢者の数はあまり変わらないが、高齢者率は変わっていくことになる。その重要性が分かりづらいので、65歳以上、75歳以上の2区分に分け、高齢者と後期高齢者に分けて整理したほうがわかりやすいと思う。

50ページに掲載している将来人口の予測について、どのようにメッシュごとで予測しているのか、教えてほしい。

この20～30年で人口が2割近く減るとされているが、施設や店舗の数はそのまま維持されるのか、人口に比例して2割減るのかについて今後検討をした方がいいと思う。

委員： 65歳と75歳は、非常に大きな差があると思うので、分析をしていただきたい。

委員： 75 ページの解決すべき課題の 1 番目がよく分からない。適切な市街地の規模と多様なライフスタイルを支える暮らしやすい市街地の形成というのは、あまりにも概念が広すぎて言いたいことは十分に伝わっていない。表現として整理した方がよい。

事務局： 高齢者について、65 歳以上と 75 歳以上の視点で分析は追加して資料を作成させていただきます。

課題の 1 番について、問題が浮き彫りになっていないので、改めて検討します。事務局の分析結果として、人口密度は低下するが、限界集落は発生しないということでしたので、その分析をもう少しわかりやすいように整理していきます。

事務局： 500mメッシュの将来人口見通しについて、国立社会保障・人口問題研究所は都市ごとに出生率と社会移動率を仮定して将来人口を推計しております。その推計の数値をもって図化したものが 50 ページに掲載したものです。これは知多市が独自に推計した結果ではなく、国が公表しているメッシュごとの人口を見やすく図化したものです。

委員： 500mメッシュだと自然増減はいいが、社会増減は地区単位で大きく変化するはずであり、それが図面で表現できていない。人口を推計した条件を文章の中で明記するなど、表現について検討してほしい。

事務局： 国土技術政策総合研究所より、もう少し精緻な将来人口を推計できるシステムが公表されています。それぞれの地区ごとの社会移動を加味したうえで、将来人口が推計できるプログラムです。それを使えば、もう少し精緻な検討ができる可能性がありますので、今後相談しながら検討していきたいと思えます。

委員： 500mメッシュで社会移動が正確にとらえられるのかというのは疑問に感じる。市内間での移動でもメッシュ単位でみると社会移動となる。細かく正確に予測するのはできないという前提で、目安という感じで検討、整理するとよい。

委員： 20 年後の知多市の年代別の人口はどうなっているかを教えてほしい。

事務局： 将来の年代別人口ピラミッドを作成することは可能ですので、調査分析します。

委員： 人口が今よりも 2 割減少する将来に、バスもコンパクト化が進むべきだと思う。しかし、コミュニティバスの利用者は増加傾向にある。今後の計画では北部路線の維持改善とあるが、おそらくできないと思う。路線に優先順位を付ける議論が必要だと考えている。

委員： バスこそ最初に自動運転化すべきだと思っている。買い物についてもネット販売が普及しつつあるので、将来どの程度の商業施設がどれだけ必要になるのか、そういった AI の普及による社会構造の変化も見据えて、立地適正化計画を策定する必要があると考えている。

委員： 立地適正化計画と都市計画マスタープランを同時に作成していると思うが、立地適正化計画と都市計画マスタープランとの整合性もきちんと検討していただきたい。

5. その他

事務局： 本日、委員の皆様からいただきましたご意見等につきましては、今後、事務局で検討させていただきます。次回の策定委員会の開催は令和 2 年 2 月 10 日（月）13：30 からを予定してお

り、改めて書面で通知させていただきます。

今回の内容はまちづくりの方針、目指すべき都市像と誘導方針の議論と本日の意見への回答をさせていただく予定です。